



シャンパーニュのテロワール



地理的位置

ランス北部



土壌の種類

大部分が以下のような石灰質

土壌による構成:

白亜質石灰岩: 「貯水池」の役目

を果たし、温度を一定に保つ

泥灰岩: 湿度を適度に保ち、

太陽光の熱を備蓄

硬質石灰岩: 水分を適度に保持

し、太陽の放射熱を備蓄して放出

砂土: 空気を含み水はけがよい

粘土: 水分や養分を保つ



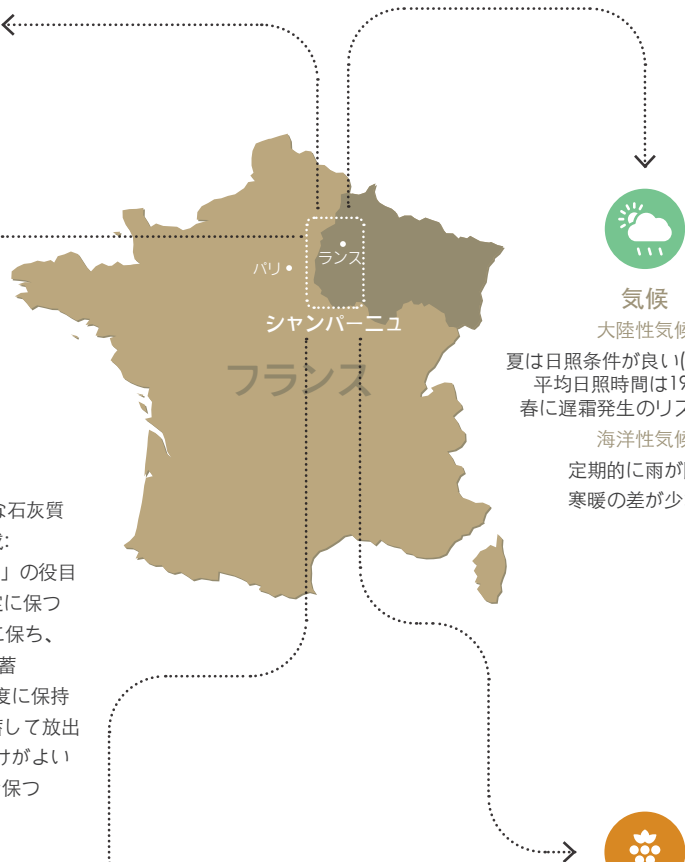
地形

海拔は平均150~200 m

斜度があり、山と谷間がある

丘陵地帯(平均斜度12%)

- 日照条件が良い
- 余分な水分を排出



気候

大陸性気候

夏は日照条件が良い(過去10年の
平均日照時間は1901時間)

春に遅霜発生のリスクがある

海洋性気候

定期的に雨が降る

寒暖の差が少ない



ブドウ栽培農家

この地方ならではの

栽培技術

300年以上の伝統

ブドウ栽培に厳しい規制
を採用



▶ シャンパーニュの独自の特性はこのテロワールが生み出しています。
シャンパーニュ産スパークリングワインだけがシャンパーニュ。

詳しくはこちら: champagne.education